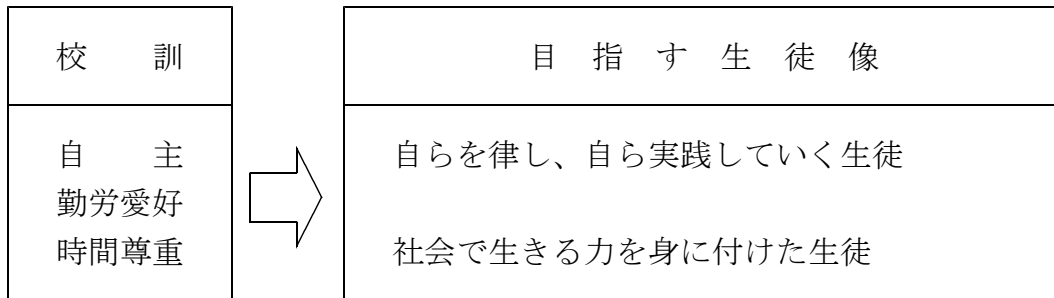


教 育 目 標

1 本校の教育目標



2 本年度の経営方針

- (1) 生徒一人一人の理解を深め、生きる力を育むとともに、阿久比町幼保小中一貫教育が目指す知・徳・体の調和のとれた生徒像の育成を図る。
- (2) 生徒一人一人が自己存在感・成就感を味わえる学校づくりに向けて、全職員が自らの使命と責任を自覚し、指導力の向上に努める。
- (3) 学校と地域・保護者の双方に開かれた学校づくりを行い、信頼される教育活動の推進に努める。

3 本年度の重点努力目標

- (1) 生徒が学ぶ喜びを実感できる授業の実現 【確かな学力を培う】
 - 学習規律と学習習慣の定着を図り、基礎基本が確実に身に付く授業づくりに努める。
 - 生徒が主体的に学び、対話的な活動を通して学び合う授業づくりに努める。
- (2) 他人と協調し、他人を思いやる心をもった生徒の育成 【共生の心を育む】
 - 自分との違いを受け入れ、お互いに尊重し合える教育環境づくりに努める。
 - 生徒会活動・学年運営委員を中心に、集団活動や自治的活動の促進に努める。
 - ボランティア活動を通して、郷土愛を育み、地域の一員として地域に生きる喜びや生きがいを感じる心を育てる。
- (3) 社会性を培う教育環境の創造 【社会性の向上を図る】
 - けじめと規律ある生活を目指し、「時間を守る」「整理整頓」「清掃活動」に重点をおき、基本的な生活習慣の定着を目指す。
 - 率先垂範により「笑顔のあいさつ」「時と場に応じた言葉遣い」「公共の場を意識した行動」ができる生徒の育成に努める。
 - 信頼関係の構築に向けて、生徒個々のよさを認め褒める指導に心がける。
- (4) 教師の働き方改善を進める。
 - より計画性をもった学校運営により、勤務の効率化を図る。

2 目指す生徒像の実現に向けての柱

<p>社会で役立つ学力</p> <p>自ら学び、自ら を高めていくこ とができる生徒</p> <p>知を磨く</p>	<p>①主体性を育む授業づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>育てたい資質・能力とねらいを明確にした授業づくり</u> ・ 対話的な活動を通して学び合う機会を積極的に設ける。 <p>②学習基盤（学習規律と学習習慣）を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中連携を強化し、学習規律と学習習慣の定着を図る。（「聞く」指導の徹底、家庭学習の習慣化） <p>③教師の授業力向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現職教育の充実（積極的授業公開・グループワーク）を図る。 ・ 教師が研修する機会（校内研修・各種研修会）を計画的に設定する。
<p>社会で生きていく上で必要な人間性</p> <p>礼節を重んじ、 周りとの協調 できる生徒</p> <p>豊かな人間性</p>	<p>①感謝と思いやりの心を育む教育活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ、時と場に応じた言葉遣いを励行する。 ・ 朝の読書と体験活動の充実を図る。 <p>②郷土愛を育み、地域に奉仕しようとする心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動（地域貢献活動）を推進し、地域の一員としての自覚をもち、地域に役立つ喜びを実感させる。 <p>③支え合い高め合う仲間づくり（集団形成）を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級や学年・縦割り活動・部活動の中で、連帯意識と社会性の向上を図る。（共感できる人間関係づくり） ・ 生徒会（委員会）・学年運営委員の活動の活性化を図り、主体的な自治活動と<u>リーダー育成</u>を推進する。
<p>社会で生きていく上で必要な健康と体力</p> <p>心身ともに たくましく、 ねばり強く 取り組む生徒</p> <p>心身の健康</p>	<p>①命を尊び健康で安全な生活を送るための教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命の大切さについて学ぶ体験活動と道徳の充実を図る。 ・ 心の健康づくりに向けての自己管理能力を育成する。 <p>②キャリア教育を通して、生きる力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己理解・自己啓発・自己実現に向けて、進路指導のガイダンス機能と体験活動の充実を図る。 ・ 地域の教育的人材・教育環境を積極的に活用する。 <p>③部活動を通して、忍耐力と継続力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己成長を感じさせる場を積極的に設け、自己肯定感を高めていく。 ・ 同じ目標の達成に向けて、練習に耐える力を育む。